

39-2 自衛隊のインフラ基盤強化対策(神奈川県綾瀬市)

効果概要: 耐震診断において倒壊・崩壊の危険性があることから、施設の建替えにより災害発生時における施設の機能を維持・強化し、適切な航空管制の実施による安定的な飛行場運用を確保する。

府省庁名: 防衛省

- 実施主体: 海上自衛隊
- 対策の概要: 航空管制塔(RC-5 約2,700㎡)
- 事業費: 約22億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約15億円)
- その他: 厚木飛行場は、海上自衛隊航空部隊が所在し、我が国周辺海域における警戒監視等の任務に当たっている。
大規模地震発生時における建物被害回避と任務遂行能力確保の観点から、飛行場の運用機能の中核となる施設である管制塔は、耐震診断において、「倒壊・崩壊の危険性がある。」との結果であったことから、早急に耐震対策として震度6以上の地震で倒壊しない「新耐震基準」に対応した構造とし、航空安全を確保する必要がある。

整備前



整備後

